

令和8年度幼保連携型認定こども園「建昌こぎく保育園ランドデザイン」

【教育目標】「元気で思いやりのあるこぎくの子」

★子どもたちを「にこにこの笑顔」でお迎えいたします！（利用者満足度を高める経営）

【園経営の基本】 園児「建昌こぎく保育園に通ってよかった。」

保護者「建昌こぎく保育園に通わせてよかった。」

職員「建昌こぎく保育園に勤務できてよかった。」



【めざす子どもの姿】

園は、JR帖佐駅、市役所、小学校、公園にも近く、木育を目玉事業とし豊かな自然に恵まれた保育園を目指しています。

春は玉ねぎ掘り、サツマイモ苗植え。夏はソーメン流し、水あそび、田植え、虫さがし。秋は稲刈り、芋掘り、冬はもちつきなど、四季折々の自然に触れ、味わい、楽しむ園です。

1 自然に親しみ豊かな感性をもつたくましい子ども

一年を通じて友達とふれあい、収穫の喜び、生命の大切さを考える保育や危険から身を守るために、「自分の命は自分で守る」を合言葉に、危険予知能力(KYT)を高めています。

2 生き生きと遊び、人の痛みのわかる思いやりのある子ども

子どもに数多くの生活体験をさせ、多くの人との出会いの多い保育園です。その出会いが「生活力」を付けています。

3 自分の思いや感じたことを表現できる子ども

感じたことや考えたことを進んで言葉に表すようにしています。

【何気ない仕草や表情から伝わる気持ちを理解する職員】

- 1 「10の姿」を念頭に、子どもが安心して自分の思いや力を発揮できる環境をつくる職員
- 2 子ども一人ひとりを尊重し、子どもの状況や発達の特徴を踏まえ、虹の家などと連携する職員
- 3 子どもの思いに対して肯定的に应答し、子どもの意欲を引き出す職員。できないときは「どうすればよいか」を考える手助けをする職員
- 4 基礎的な生活習慣や態度を身につける職員
- 5 スキルアップを図り、積極的に資格を取得するなど、自らのライフステージの指標を描ける職員



令和8年度重点内容

【重点1】	【重点2】	【重点3】	【重点4】
家庭と連携し規則正しい生活リズムを身に付けます。 ・「早寝、早起き、朝ごはん」 ・登園などの時刻を意識し、行動する。	木育を中心に子どもたちに数多くの体験をさせ、人や物との出会いやつながりの機会をつくります。 「木育と言えばこぎく保育園」	異年齢保育、つぼみ保育園、児童クラブ風の子園、虹の家、高齢者施設、近隣保育園、幼稚園、小学校などとの交流活動を推進します。	「ドレミファサークル」で、豊富な遊びや季節の行事体験・交流の場を提供しております。 親子と一緒に、こぎく保育園で遊びませんか。

【特色ある保育活動】

五感を通して、いろいろな体験を積み重ねています。

- 1 木育インストラクターを中心にした木育の推進（シイタケ観察、木工作品製作、葉の成長や木の実拾い）
- 2 好奇心や探求心を育む体験活動を重視した園づくり
草花(宇宙アサガオ、ヒマワリ)、樹木、野菜、米、昆虫、メダカ、畑(サツマイモ、タマネギ)など
- 3 運動能力調査(年2回)、「げんきタイム」(月1回)
- 4 食育の充実(野菜や魚などの食材五感体験などの栄養士直接指導、愛情弁当の日、かき氷、ソーメン流し、焼き芋、餅つき、食育読み聞かせ)
- 5 なかよしデー(ふれあい遊びや給食、共同制作等)

【保護者・地域との連携】

保護者や地域社会に信頼される園づくりを推進します。

- 1 「ドレミファサークル」(年10回予定)
- 2 保護者と先生の会
保護者の理解を得ながら、子どもの成長をふまえて何ができるかを共に考え、実践していきます。
- 3 学校関係者評価委員会(年2回)
- 4 一時保育の利用
- 5 こども誰でも通園制度(始良市乳児等通園支援事業)R8.4開始
- 6 地域貢献活動
高齢者施設、児童クラブ「風の子園」、近隣保育園や幼稚園、公民館との交流、公園のゴミ拾いなど

